

2023年度

環境経営レポート



®環境省

エコアクション21

認証番号 0003866

Vol. 16



時代とともに 街とともに

TATEYOSI
CORPORATION
株式会社 建吉組

対象期間 : 2023年4月～2024年3月

発行日 : 2024年7月30日



建築家 安藤忠雄氏の寄付により、全国で4棟目となる「こども本の森 熊本」を施工しました。
「こどもたちが自由にいられる場所」をコンセプトに水前寺江津湖公園の自然豊かな木々の中に建つ図書館となっています。



屋根は熊本県産材の杉・桧を使用した木造で、3層の格子組となっています。
また、内壁は全面書架にしており、木に囲まれた空間になっています。



＜2階バルコニー＞



BIMを活用し、施工検討を行いました。



車椅子の方が利用しやすいようにスロープを設置し、障害者の方への点字による表示しています。



建築材料の一部に木材を利用し、環境への配慮を行っています。

表紙建物 . . . こども本の森 熊本

設 計 . . . 安藤忠雄建築研究所

竣 工 . . . 令和6年3月8日

木材に係る炭素貯蔵量 . . . 6t-CO₂（これは1人当たりの3年分のCO₂排出量に相当します）

延床面積 . . . 463.33㎡

構 造 . . . RC造、一部W造

木 材 . . . 8.2㎡

1.事業概要	1
2.組織概要・対象範囲	2
3.課題とチャンス	2
4.環境経営方針	3
5.環境活動の実施体制（2023度・2024年度）	4
6.環境への負荷実績・環境経営目標	5～8
7.2023年度環境経営計画の取組結果と評価	8～9
7-1.2024年度環境経営計画の取組内容	10
8.環境法規制遵守チェックリスト	11
9.建設に係る環境関連法規への違反、訴訟等の有無	11
10.G E Oパワーシステム	12
11.年間行事（2023.4～2024.3）	13～16
12.S D G s の取組み	17
13.会社の取組み	18～21
14.2024年度の各部目標	22
15.代表者による全体評価と見直しの結果	23

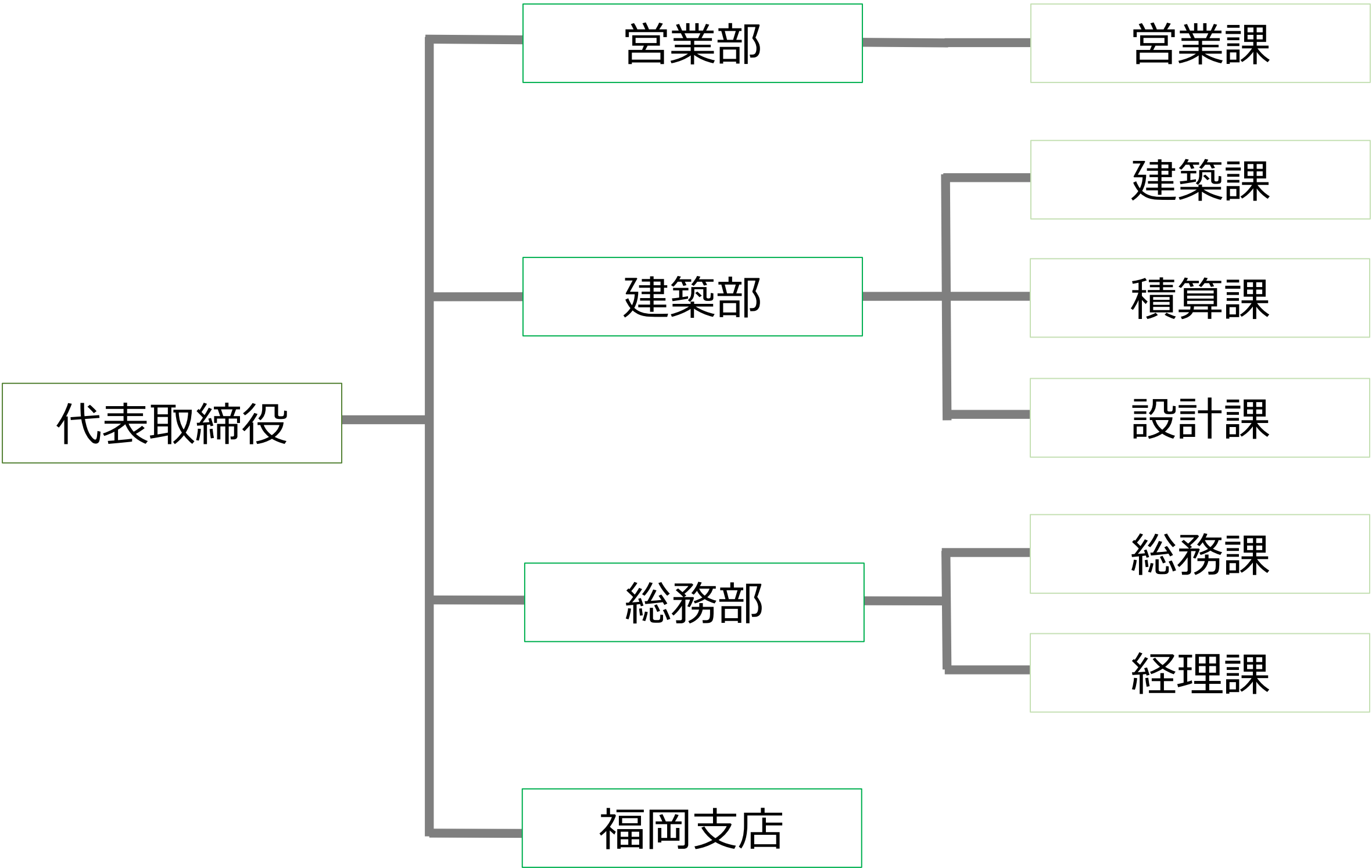
1. 事業概要

- 商号 株式会社 建吉組
- 代表者 代表取締役 笹原 健嗣
- 所在地 本 社 熊本県熊本市中央区坪井6丁目38番15号
福岡支店 福岡県福岡市南区塩原3-26-18-704
室園倉庫 熊本県熊本市北区室園町20-14
合志倉庫 熊本県合志市野々島4420番3
- 創業 大正 8 年 5 月 1 日
- 設立 昭和 19 年 4 月 19 日
- 事業内容 建設工事の企画・設計及び監理、建築工事の施工
不動産の賃貸及び所有管理
- 資本金 1 億円
- 完工高 81億円(令和5年度)
- 社員数 60名
- 許可 建設業許可 国土交通大臣（特-4）第853号
- 登録 一級建築士事務所登録 熊本県知事 第100号
- 環境統括管理者 山田 博明
- 環境管理担当者 竹内 拓矢
- 連絡先 TEL 096-343-1111 FAX 096-345-6711
- U R L <https://www.tateyosi.co.jp>
- 認証登録範囲

事業活動	特定建設業(建築工事業、大工工事業、左官工事業、石工事業、とび・土工工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、鉄筋工事業、板金工事業、ガラス工事業、塗装工事業、内装仕上工事業、防水工事業、熱絶縁工事業、建具工事業 解体工事業)
対象事業所	本社、福岡支店、室園倉庫、合志倉庫
認証範囲	全組織・全活動



2. 組織概要・対象範囲



3. 課題とチャンス

	課 題	チャンス	SDGs、ESG
外部	・ 同業他社との価格競争 ・ 世界情勢の変化による資材の高騰と納入遅延 ・ CCUSの促進 ・ 協力業者の高齢化・多国籍化、事業継承 ・ 労働力不足 ・ 気候変動と自然災害の増加	・ 自社の技術力の発信 ・ 顧客のニーズと期待に迅速・的確に対応 ・ 技能者の能力・経験等に応じた処遇改善 ・ ICTを活用した生産性向上 ・ 社会的な環境配慮の高まり ・ 防災・減災工事の需要の増加	・ 環境配慮設計・資材活用の促進 ・ 脱炭素の推進 ・ 確かな品質の追求 ・ ダイバーシティの推進 ・ ブライト企業、健康経営優良法人の継続 ・ 協力業者育成支援 ・ 事業継続力強化計画認定の継続
内部	・ 設計施工の提案力・特命受注率の向上 ・ 若手社員の定着率、育成 ・ ベテラン社員による技術(ノウハウ)の継承 ・ 定期点検の実施 ・ 上限規制への対応 ・ 健康診断後の二次検診受診率100%	・ 生産性向上による利益率向上 ・ デジタル化の推進 ・ 技術(ノウハウ)による品質力の向上 ・ 企業価値の創出 ・ ワークライフバランスの向上 ・ 個人の健康宣言による健康意識向上	・ 実施設計BIM、デジタルモックアップ等の提案によるお客様満足度の向上 ・ 4週8閉所実施率向上 ・ 企業価値の向上 ・ 技術系女性社員比率の向上 ・ 協力会青年部会での事業継承研修

4. 環境経営方針

株式会社建吉組は地域環境の保全とその継承の重要性を認識し、建設業としての事業活動を通して、環境負荷の低減、持続可能な循環型社会の構築に貢献します。

次の環境経営方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地域の環境保全に貢献する企業を目指します。

1. 当社の業務運営に関わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
2. 当社に関連する環境関連法規制などの要求事項を遵守します。
3. 顧客に対して環境に配慮した製品を提案し省エネに配慮した設計に努めます。
4. 当社の事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目を環境経営重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 産業廃棄物排出量の削減
 - (3) 地下水の保全活動
 - (4) グリーン購入
 - (5) 資源の節約
 - (6) 地域貢献
 - (7) 化学物質の適正管理
 - (8) 経営における課題と機会を踏まえる
5. すべての社員が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、環境経営方針を全従業員及び協力会社に周知し社外にも公開します。

上記の方針達成の為に目標を設定し定期的に見直し環境活動を推進します。

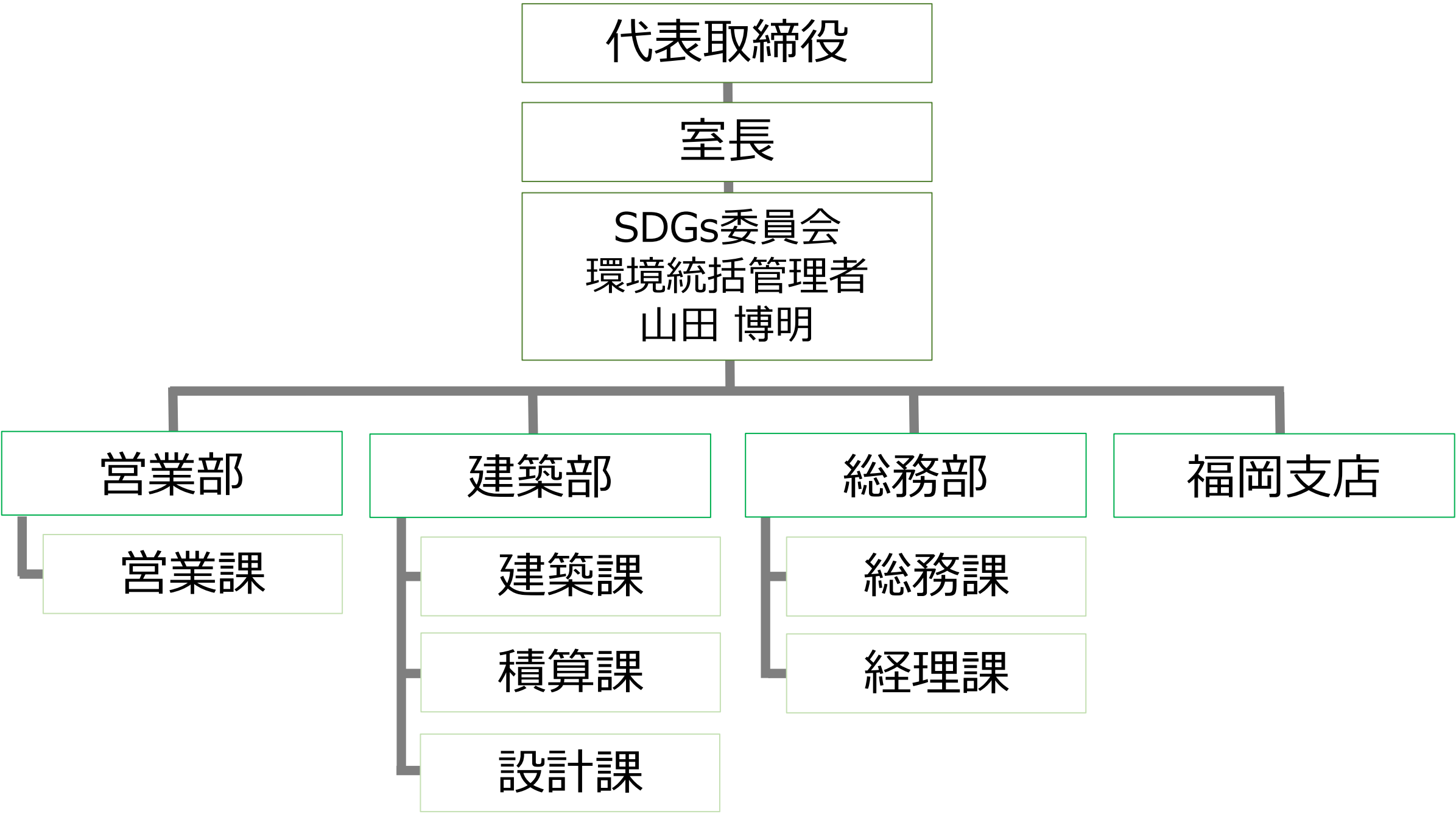
2008年6月1日 制定
2023年9月1日 改訂

株式会社 建 吉 組

代表取締役 笹原 健嗣



5 . 環境活動の実施体制 - 2023年度・2024年度 -



順 位	主な責任と権限
代表者（社長）	環境経営方針の制定と、EA21環境マネジメントシステムの統括 環境統括管理者の任命 取組状況を評価し全般的な見直しの実施及び指示 環境活動への取組を適切に実行するための資源（人・物・金）の承認
環境統括管理者	代表者より委任を受け環境経営システム全体的な構築、運用、維持に関する責任と権限 環境経営計画の策定及び進捗管理を代表者へ報告 環境関連法規の取りまとめと評価及び環境経営レポートの確認と公表
環境管理担当者（事務局）	環境経営における事務局としての環境統括管理者の補佐 環境活動における決定事項を社員全般への伝達及び環境活動記録の取りまとめ 環境上の外部コミュニケーション窓口 内部監査の実施
SDGs委員会	環境経営の事務所・現場における記録と事務局への報告 社内におけるSDGs活動の推進 一般廃棄物、産業廃棄物の管理と事務局への報告 環境関連法規の取りまとめ及び環境経営レポートの作成、環境統括管理者への報告
社 員	環境経営方針、環境目標に沿った環境活動の展開 SDGs活動における改善点の提言

6. 環境への負荷実績・環境経営目標

事務所

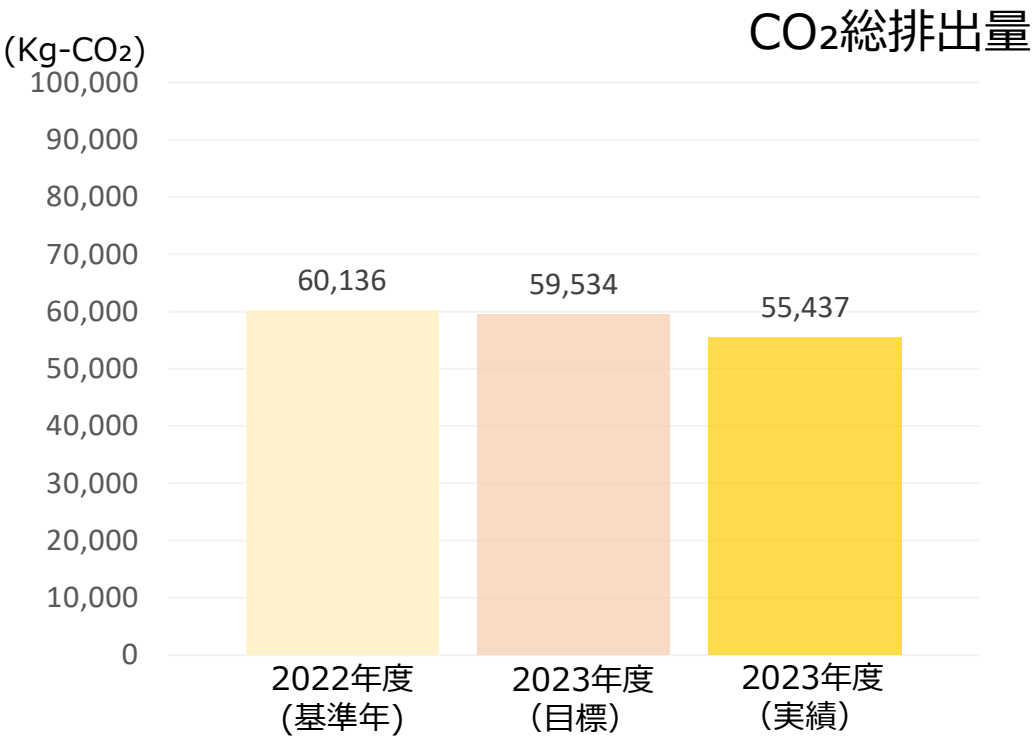
CO2総排出量・電力・ガソリン他

評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)

項目	2022年度 (基準年)	2023年度				
	実績	目標	実績	前年比	達成度	評価
CO2 総排出量※	60,136 kg-CO2	59,534 kg-CO2	55,437 kg-CO2	-7%	100%	A
ガソリン	6,796ℓ	6,728ℓ	4,933ℓ	-27%	100%	A
軽油	7,839ℓ	7,760ℓ	8,341ℓ	+6%	93%	A
灯油	0ℓ	0ℓ	0ℓ	—	—	—
電力	62,298kWh	61,675kWh	58,830kWh	-5%	100%	A

※CO2総排出量 … ガソリン・軽油・灯油・電力の各CO2排出量の合計
※電力のCO2排出量は2022年度九州電力(株)調整後排出係数(0.382kg-CO2/kWh)にて計算。基準年度も同係数に換算し計算。

中期目標			
項目	2024年度	2025年度	2026年度
CO2 総排出量	58,933 kg-CO2	58,331 kg-CO2	57,730 kg-CO2
ガソリン	6,660ℓ	6,592ℓ	6,524ℓ
軽油	7,682ℓ	7,603ℓ	7,525ℓ
灯油	0ℓ	0ℓ	0ℓ
電力	61,052 kWh	60,429 kWh	59,806 kWh



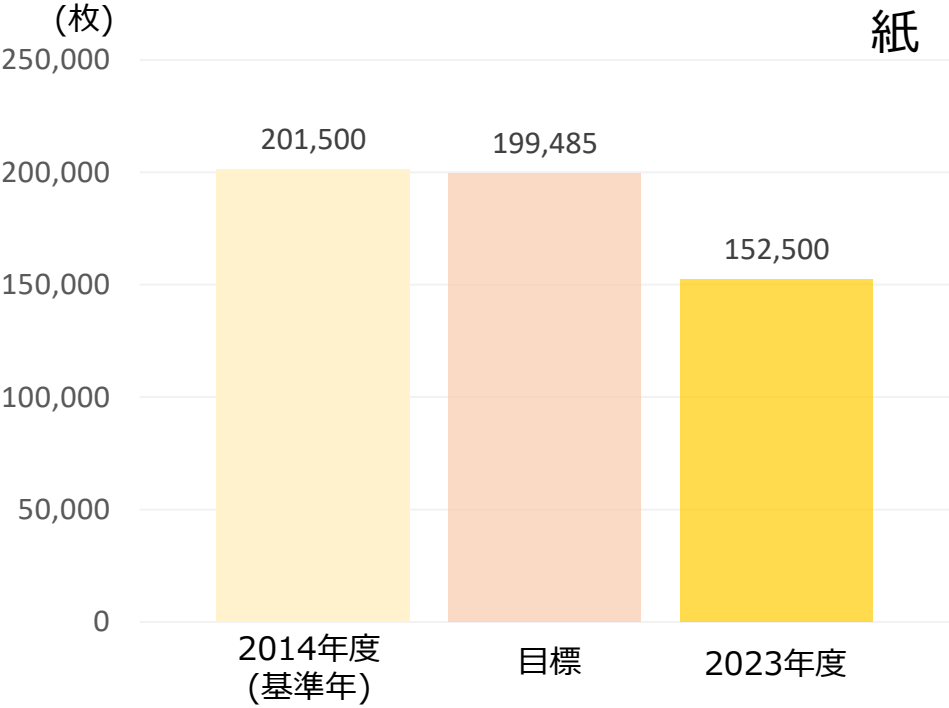
水・紙・地域貢献・グリーン購入

評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)

項目	2022年度 (基準年)	2023年度				
	実績	目標	実績	前年比	達成度	評価
水資源	56m ³	55m ³	55m ³	-1%	100%	A
紙	201,500枚	199,485枚	152,500枚	-24%	100%	A
地域貢献	6回	6回	6回	±0%	100%	A
グリーン購入※	45%	50%以上	47.6%	+5%	95%	A

※(グリーン購入)=(グリーン購入法対象数)÷(事務用品購入総数)×100にて算出

中期目標			
項目	2024年度	2025年度	2026年度
水資源	54m ³	54m ³	53m ³
紙	197,470 枚	195,455 枚	193,440 枚
地域貢献	6回	6回	6回
グリーン購入	55%以上	60%以上	65%以上

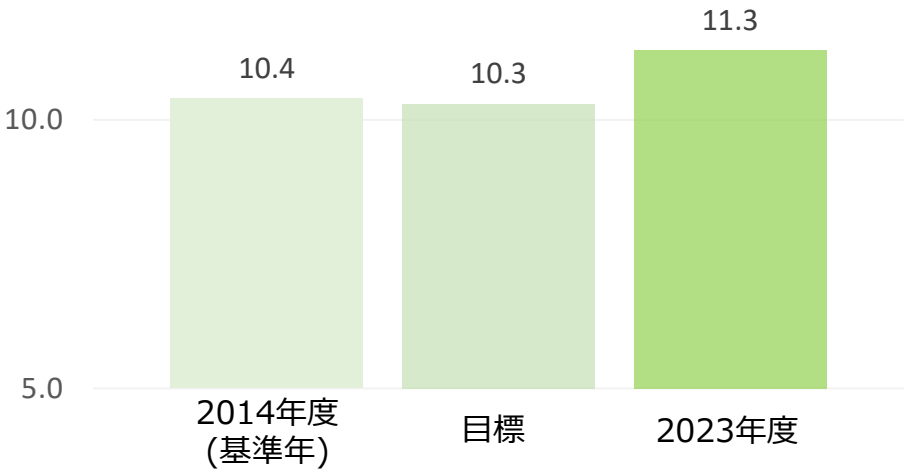


CO ₂ 総排出量						
完成工事高百万円あたり[実数]			評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)			
項目	2022年度 (基準年)	2023年度				
	実 績	目 標	実 績	前年比	達成度	評 価
CO ₂ 総排出量	10.4 [34,867] kg-CO ₂	10.3 kg-CO ₂	11.3 [91,804] kg-CO ₂	+ 8%	91%	A

(Kg-CO₂)

CO₂総排出量

中期目標			
項目	2024年度	2025年度	2026年度
CO ₂ 総排出量	10.2 kg-CO ₂	10.1 kg-CO ₂	10.0 kg-CO ₂



水・紙・地域貢献・グリーン購入			評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)			
項目	2022年度 (基準年)	2023年度				
	実 績	目 標	実 績	前年比	達成度	評 価
GEO パワーシステム※1	0t-CO ₂	5t-CO ₂	0t-CO ₂	±0%	0%	C
水資源	318m ³	314m ³	1,672m ³	+425%	18%	C
紙	112,500枚	111,375枚	160,180枚	+42%	69%	B
グリーン購入※2	32.0%	37%以上	49.9%	+55%	100%	A
化学物質の 適正管理	適正管理	ホルムアルデヒド発散建材の受入検査記録を 適正に管理しました。				A

※1 ジグザグ 7.5m = 5m×3本分(換算値) 5m(2本) = 1t-CO₂削減
※2 (グリーン購入) = (グリーン購入法対象数) ÷ (事務用品購入総数) × 100にて算出

中期目標			
項目	2024年度	2025年度	2026年度
GEO パワーシステム	5t-CO ₂	5t-CO ₂	5t-CO ₂
水資源	311m ³	308m ³	305m ³
紙	110,250枚	109,125枚	108,000枚
グリーン購入	42%以上	47%以上	52%以上
化学物質の 適正管理	適正管理		



▲地域貢献活動の一環として現場では、週に1回程度、現場事務所近隣の清掃活動を実施しています

産業廃棄物の再資源化率

評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)

項目	2022年度 (基準年)	2023年度			
	実績	排出量	目標	実績	評価
アスファルトがら	100%	318.52 t	99%以上	100%	A
コンクリートがら	100%	1,119.03 t	99%以上	100%	A
建設発生木材	100%	132.16t	95%以上	100%	A
建設汚泥	—	0t	90%以上	—	—
建設混合 廃棄物	69.0%	448.40 t	60%以上	75.4%	A

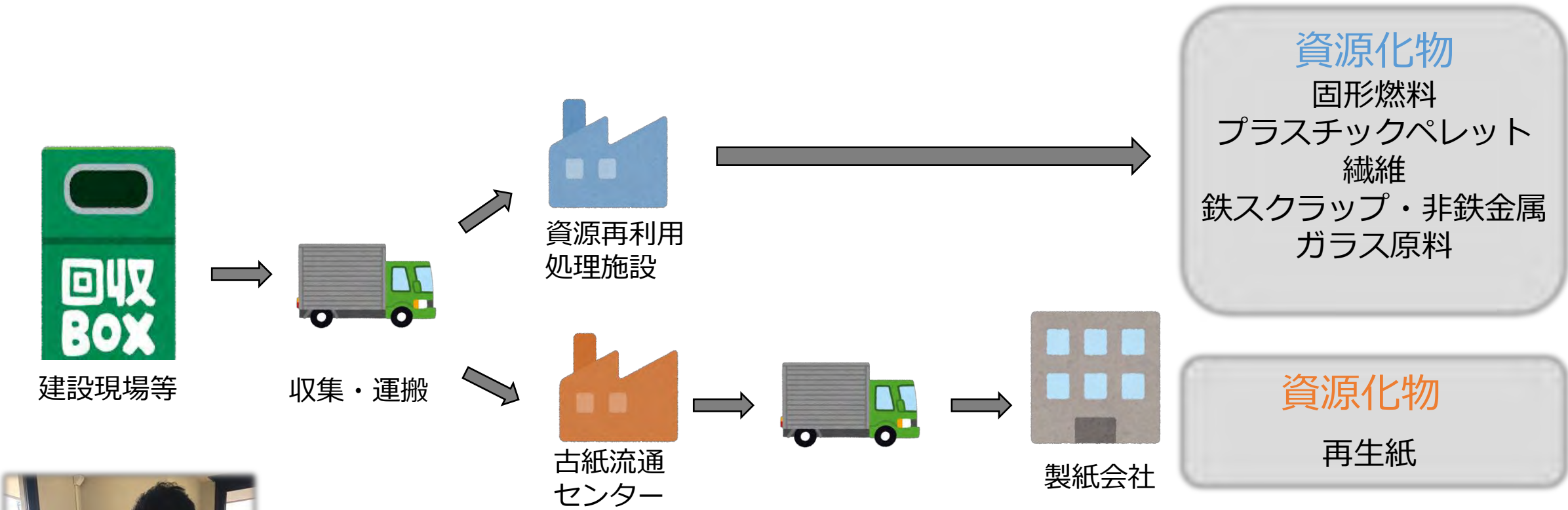


▲ 産業廃棄物に関しては
混合廃棄物処理ではなく、
細かくフレコン等を使い分別し、
産業廃棄物で処理しています。

中期目標（再資源化率）

項目	2024年度	2025年度	2026年度
アスファルトがら	99%以上	99%以上	99%以上
コンクリートがら	99%以上	99%以上	99%以上
建設発生木材	97%以上	97%以上	97%以上
建設汚泥	90%以上	90%以上	90%以上
建設混合廃棄物	63%以上	63%以上	63%以上

廃棄物リサイクルの流れ



◀ 事務所でも
2020年11月より
一般ごみの計量スタート！
継続して実施しています。

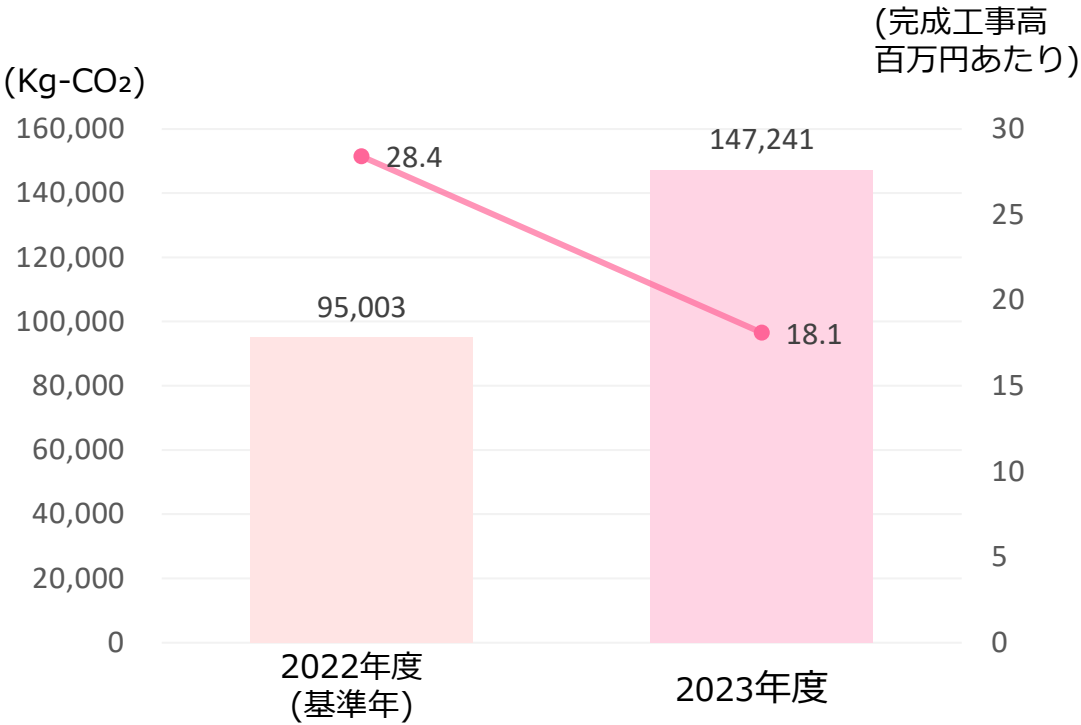


(kg)

一般ごみ(事務所)			
項目	2022年度	2023年度	前年比
燃えるゴミ	519.1	401.0	-118.1
シュレッダーゴミ	117.9	73.4	-44.5
新聞・雑誌	287.2	214.2	-73.0
段ボール	163.0	205.3	-42.3
ペットボトル	68.0	58.8	-9.2
缶	24.0	8.5	-15.5

CO ₂ 総排出量 (完成工事高百万円あたり)		
項目	2022年度 (基準年)	2023年度
	実績	実績
CO ₂ 総排出量	95,003 (28.4) kg-CO ₂	147,241 (18.1) kg-CO ₂

※会社全体CO₂総排出量…事務所・現場のCO₂総排出量の合計
2022年度：事務所 60,136kg-CO₂、現場 34,867kg-CO₂
2023年度：事務所 55,437kg-CO₂、現場 91,804kg-CO₂



7. 2023年度環境経営計画の取組結果と評価

重点項目	主な取組み内容	評価	取組み結果
CO ₂ 排出量の削減	【事務所】 - 地中熱基礎空調及び省I_h改修工事の推進活動 - 導入しているGEOパワーシステムを活用し、冷暖房の空調負荷を軽減 - 社有車を購入する際は燃費重視の車を選定 - EV車の導入 - 太陽光発電によるEV車の充電利用 - オンライン会議を積極的に利用し、移動による労働時間とCO₂排出やエネルギーの削減 - クールビズ、ウォームビズの実施 【現場】 - 冬場の暖房器具は室内温度20度を目処に調節する - 使用していない重機はエンジンを止め、CO₂削減に努める	【事務所】 A 【現場】 A	今年度も目標を達成することが出来ました。本社ではGEOパワーシステムとエアコンを併用することで、適切な温度管理を行いました。また時間外労働の削減に取り組むことで、本社及び現場での光熱費の削減にも繋がり効果が徐々に出ております。
総排水量の削減	【事務所・現場】 - 自動ストップ機能付きの水栓を利用し、出る水量を削減 - 蛇口の水圧を調整して、出る水の量を削減 - 蛇口付近に節水シールを貼り、注意喚起 - 水道施設がない場所では、雨水タンクを利用する。1日に使用する水量を決め、節水に努める	【事務所】 A 【現場】 C	事務所は目標を達成できましたが、現場は達成できませんでした。現場は工事数が増えたことが原因と考えられます。来年度は目標達成できるよう節水や雨水タンクの使用を推進するとともに、ウォーターオフセットを通じて地下水の保全にも取り組みます。
紙資源の節約	- 古紙(新聞・雑誌・コピー用紙・カタログ等)の分別回収を行う - ミスプリント用紙は裏紙として再利用 - 電子メディアを利用し、ペーパーレス化を推進	【事務所】 A 【現場】 B	紙の使用量は昨年度の実績枚数より事務所（前年比75.6%）、現場（前年比142%）、トータルで（前年比99.5%）と前年より削減することが出来ました。ただし、現場において昨年よりも使用量が増えてしまい、目標を達成することができませんでした。今後もICTを活用し、ペーパーレス化を推進していきます。

重点項目	主な取組み内容	評価	取組み結果
地域貢献活動	【事務所・現場】 ・ペットボトルのキャップを回収し、障がい者支援・途上国支援に充てる ・県道：熊本菊鹿線(中央区黒髪)年2回の清掃活動を実施 ・年1回社員及び協力業者と施設を訪問し、清掃活動を実施(企業ボランティア) ・設立記念日に本社構内で献血活動 ・フードドライブの参加 ・募金式自動販売機設置 ・建築協会の清掃・献血活動への参加 【現場】 ・現場事務所近隣の清掃活動を実施	A	全社員が年2回以上、地域貢献活動へ参加することを目標にしており、企業ボランティアや献血・清掃活動へ参加し、達成に努めています。また、ペットボトルのキャップ回収や募金式自動販売機の設置は、事務所・現場共に継続して行っています。フードドライブについては、昨年に引き続き参加することができました。集めた食品が子ども食堂等で役立てて頂ければ幸いに思います。現場では週1回程度、近隣道路等の美化活動も行っています。今後も全社員一丸となって地域貢献を行っていきます。
グリーン購入	【事務所】 ・事務用品等はエコ情報マーク製品を優先して購入する ・詰替え商品・リターナブル容器入りを購入する(筆記用具・洗剤・ソープ等) ・設計において、グリーン購入法適合商品(省エネラベル・エコマーク・グリーンマーク)の資材・設備等を1物件2件以上提案し、環境配慮設計に努める 【現場】 ・文房具は持ち回りをし、詰め替え出来る商品を購入する ・購入担当者である本社総務課で商品を選定し、グリーンマーク商品を優先して購入する	【事務所】 A 【現場】 A	今年度、事務所現場ともに目標達成することができました。 要因としては、値段や品質、利便性、デザインを優先せずに環境負荷が小さいものを購入する取り組みが社内に浸透し、これまでの取組が徹底されてきたことと、備品等の管理を徹底することで物を大切にする意識が高まったことがあります。今後も、取り組みを継続していきます。
GEOシステム	・GEOパワーシステム会員通信を毎月確認する ・(株)ジオパワーシステムとの定期的な情報交換を行い、企業の紹介活動等を行う ・新規のお客様へGEOパワーシステムの資料を配布し説明をする	C	GEOパイプの新設工事が今年度は0件だったため、結果はC評価となりました。ただ、既設済の教育施設ではGEOパワーシステムの効果を実感して頂けていることもあり、GEOパイプの延長工事を行うことができました。
化学物質の適正管理	【現場・合志倉庫】 ・ホルムアルデヒド発散建材料の受入検査記録を適正に管理する。 ・保管庫の表には「火気厳禁」の表示、中には「物質の分類・量」を表示して明確にする ・保管庫は施錠し厳重に管理する ・4S(整理・整頓・清掃・清潔)の徹底	A	ホルムアルデヒド発散建材料の管理に関しては、内装及び塗装工事の使用材料を対象とし、使用材料がF☆☆☆☆の材料を適正に使用したかの記録を残しています。また、教育施設や事務所等の竣工時には指定場所の化学物質濃度測定を実施しています。保管庫については内部監査時に確認し、適正管理が出来ていました。
産業廃棄物の排出量の削減	【現場】 ・廃棄物管理票（マニフェスト）に基づき適正に処理する ・再生利用及び再生利用率を向上させる ・廃棄物の削減 ・リサイクル品の使用	A	今年度は 工事量が増加しましたが、廃棄物の適正管理により、各項目において目標を達成しました。継続して目標を達成できるよう使用材料などを工夫し、再資源化率向上を推進していきます。



評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)

※F☆☆☆☆…ホルムアルデヒドを発散する可能性がある材料に付される、発散量を示す等級の最上位規格

7-1. 2024年度環境経営計画の取組内容

重点項目	主な取組み内容
CO ₂ 排出量の削減	【事務所】 ・地中熱基礎空調及び省エネ改修工事の推進活動 ・導入しているGEOパワーシステムを活用し、冷暖房の空調負荷を軽減 ・社有車を購入する際は燃費重視の車を選定、EV車の導入検討 ・社有車によるエコドライブ(エコサム)の実施 ・クールビズ、ウォームビズの実施 ・事務所改修時の環境配慮型及び木質化 【現場】 ・冬場の暖房器具は室内温度20度を目処に調節する ・Web会議促進による車両移動を減らし、CO₂削減に努める ・省エネ型・ハイブリッド型の建設機械の使用
総排水量の削減	【事務所・現場】 ・自動ストップ機能付きの水栓を利用したり、蛇口の水圧を調整して出る水量を削減 ・蛇口付近に節水シールを貼り、注意喚起を行う ・水道施設がない場所では、雨水タンクを利用する。1日に使用する水量を決め、節水に努める
紙資源の節約	・古紙(新聞・雑誌・コピー用紙・カタログ等)の分別回収を行う ・ミスプリント用紙は裏紙として再利用、社内で用紙の利用の際は複数（4ページ）を1枚で印刷する ・書面の電子化 ・ICTを活用し、ペーパーレス化・業務効率化に努める
地域貢献活動	【事務所・現場】 ・ペットボトルのキャップを回収し、障がい者支援・途上国支援に充てる ・県道：熊本菊鹿線(中央区黒髪) 年2回の清掃活動を実施 ・年1回社員及び協力業者と施設を訪問し、清掃活動を実施(企業ボランティア) ・設立記念日に本社構内で献血活動 ・募金式自動販売機設置 ・建築協会の清掃・献血活動への参加 ・フードドライブの参加 【現場】 ・現場事務所近隣の清掃活動を実施 ・災害時ボランティア活動を実施
グリーン購入	【事務所】 ・事務用品等はエコ情報マーク製品を優先して購入する ・詰替え商品・リターナブル容器入りを購入する（筆記用具・洗剤・ソープ等） ・近隣挨拶時にはエコバッグ・エコ商品を配付 ・設計において、デザインレビュー時と設計仕様書にグリーン購入法適合商品(省エネラベル・エコマーク・グリーンマーク) 及び環境配慮資材・材料・設備等を1物件1件以上提案を記載し、環境配慮設計に努める ・サーキュレックスごみ袋の使用 【現場】 ・内装仕上げ材は、ホルムアルデヒド放散量の少ないF☆☆☆☆製品を使用する ・現場員は、再生PET繊維50%以上の作業服を着用
GEOSWATシステム	・GEOパワーシステム会員通信を毎月確認する ・(株)ジオパワーシステムとの定期的な情報交換を行い、企業の紹介活動等を行う ・新規、既存のお客様へGEOパワーシステムの資料を配布し説明をする
化学物質の適正管理	【現場・合志倉庫】 ・ホルムアルデヒド発散建材料の受入検査記録を適正に管理する ・保管庫の表には「火気厳禁」の表示、中には「物質の分類・量」を表示して明確にする ・保管庫は施錠し厳重に管理をおこない、管理責任者を明確にする ・4S(整理・整頓・清掃・清潔)の徹底
産業廃棄物の排出量の削減	【現場】 ・廃棄物管理票(マニフェスト)に基づき適正に処理する ・再生利用及び再生利用率を向上させる ・廃棄物の削減 ・リサイクル品の使用

8. 環境法規制遵守チェックリスト

2022年4月12日 改訂

主な環境法規制等	届出、作業等	遵 守 事 項
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理	委託基準 1.委託先の許可確認 2.委託契約の締結 3.契約書の5年間保存 マニフェストの交付 1.交付義務 2.回収・照合(発行後B2,D票90日、E票180日以内) 3.保管(5年間) 未回収戻り票の報告 「交付状況報告」
	廃棄物の処理	積み上げ高さの厳守、雨、風、悪臭発生に対する養生、保管場所の掲示板設置
	特別管理産業廃棄物管理責任者、排出事業所、排出報告の届出、多量排出事業者計画届出	知事・市長へ届出 (届出期間、様式は条例等規定)
建設リサイクル法	・解体工事-80㎡以上 ・新築・増築工事-500㎡以上 ・修繕・模様替工事-1億円以上 ・その他の工作物に関する工事(土木工事等)-500万円以上	・発注者への書面による計画等説明・工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届出、発注者へ書面による完了報告 ・分別解体等 ・再資源化等の促進 ・再生資源の使用
騒音規制法	杭打ち機、ブレーカー、空気圧縮機等を使用する作業	・建設予定地の市町村へ7日前までに届出 ・作業敷地境界にて85デシベル以下
振動規制法	杭打ち機、杭抜き機、ブレーカー、舗装版破碎機を使用する作業	・建設予定地の市町村へ7日前までに届出 ・作業敷地境界にて75デシベル以下
下水道法	公共下水道への排水	・公共下水道管理者にあらかじめ届出 ・排水基準(有害物質は排水基準を定める総理府令)、生活環境項目については、条例による。
フロン排出抑制法(特定解体工事元請業者が特定解体工事発注者に交付する書面に記載する事項を定める省令) 平成27年4月施行	業務用冷凍空調機器の管理者による冷房管理 解体工事(改修工事)	・全ての第1種特定製品を対象とした簡易点検の実施(3カ月に1回以上) ・一定の第1種特定製品について、専門知識を有する者による定期点検の実施(7.5kW以上の冷凍冷蔵機器：1年に1回以上 50kW以上の空調機器：1年に1回以上 7.5～50kWの空調機器：3年に1回以上) ・解体前にフロン類機器設置有無を確認、発注者に書面説明 ・第1種特定製品管理者は当該フロン類機器を第1種フロン類充填回収業者に引き渡さなければならない ・機器の廃棄を委託された場合「委託確認書」の回付と保存及びフロン類充填回収業者の「引取証明書」の受理と写しの保存(3年間) (平成19年10月1日施行)
建築物省エネ法	建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律	・適合性判定：確認済証発行前(非住宅2,000㎡以上) ※令和6年4月より用途毎に基準値引き上げ予定 ・届出：工事着手予定の21日前(300㎡以上) ・認定：工事着手の前まで(認定基準を満たすこと)
改正石綿障害予防規則	石綿(アスベスト)含有の有無の事前調査 ・解体部分の延床面積-80㎡以上 ・改修工事の請負金額-100万円以上	元請業者の責務 ・協力業者(関係請負人)が法令に違反しないよう必要な指導 ・作業間の連絡調整、作業場所の巡視 ・協力業者が行う労働者の安全衛生教育に対する指導・援助

9. 建設に係る環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規制の遵守状況をチェックしたところ、違反は有りませんでした。

また、現時点まで関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟についても問題ありません。

10. G E O パワーシステム

Geothermal …地中熱利用

Economical …エコで経済的

Oasis …癒しとくつろぎ



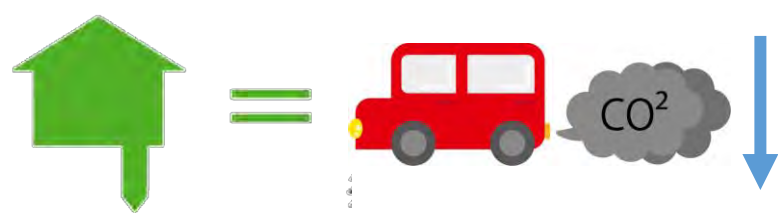
G E O パワーシステムは、私たちの足元にある自然エネルギー「地中熱」を利用し基礎空調を行う24時間計画換気システムです。

つまり、冷暖房のように急激に温度を調節するのではなく、換気をしながら建物全体をゆるやかに調整し冷暖房の空調負荷を軽減します。

→ 地中熱とは？

大地は巨大な蓄熱層。1年を通して昼夜繰り返される、太陽による蓄熱と夜間冷氣による放熱により、地中内の温度はその地域の平均気温とほぼ同じ温度になります。G E O パワーシステムが利用するのは、地下約5～7.5mの温度。外気と違い温度変化が少なく、夏にはほんのり涼しい、冬にはほんのり暖かい熱が蓄熱されています。

ジオパワーシステムは
地球(人類)に貢献しています。



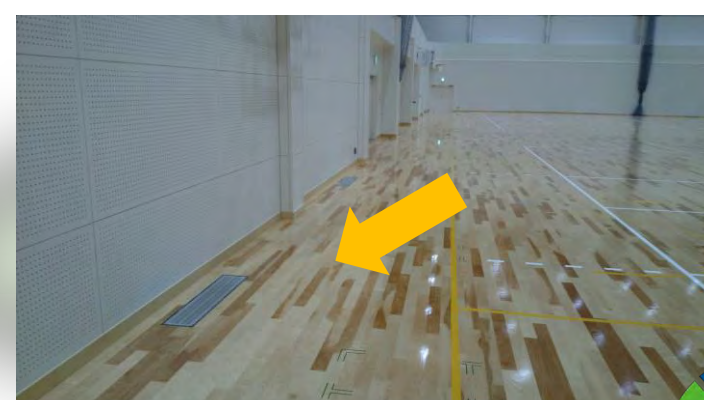
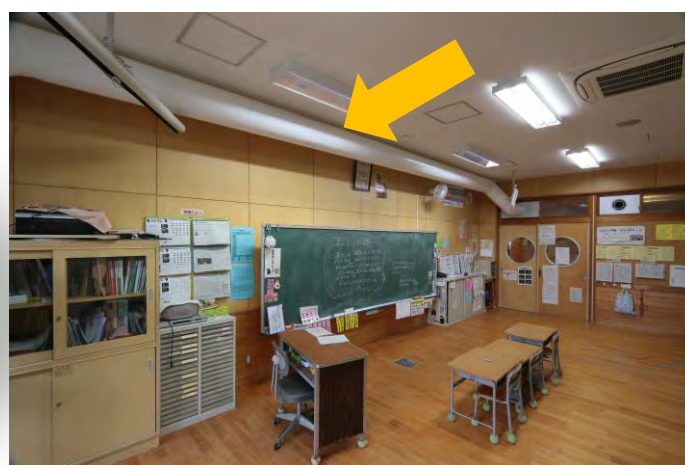
住宅にジオパワーシステムを導入すると、1年間あたり、約1トンのCO₂の削減となります。これは、ガソリン車の半年分の走行距離（3,000km）と同等の削減をしていることになります。

導入のメリット

- ・ 温室効果ガスの排出抑制
- ・ ランニングコストの削減
- ・ 体に優しい自然に近い温度での空調
- ・ 空気浄化機能
- ・ 環境教育、企業の社会的責任（CSR）
- ・ 補助金によりイニシャルコスト削減が可能なケースあり
- ・ 節電対策

施工例

教育施設でも採用されています。

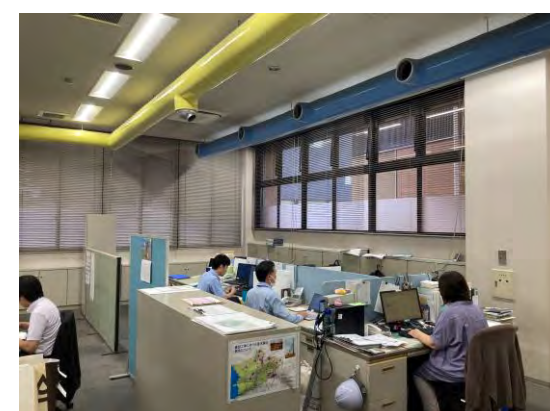


▲ 体育館

グリ石



床下換気口をなくし、こぶし大のグリ石を床下いっぱい敷き詰めています。グリ石層（碎石蓄熱層）は表面積がコンクリート床の何十倍にも相当し、非常に蓄熱（蓄冷）効果があります。



↑ GEO吹出口

本社内でもジオパワーシステムで地中熱を利用し、自社の省エネ化を進めています。

11. 年間行事 (2023.4～2024.3)

➤ 設立記念献血



2023.5.18



76名の方に
ご協力頂きました



隅々まで清掃し、
きれいに
することが
できました。



➤ 美化ボランティア

春と冬、年に2回
近隣の道路清掃を行い、
地域環境の保護に努めています。

2024.1.27



2023.5.27



➤ 防災訓練

2023.6.8 〈水害〉



土のう作り、土のう積み、水中ポンプ・発電機・
バレーン照明機の操作訓練を実施しました。
災害時に必要な機材の操作を一人でも行えるよう訓練し
ています。



土のう作り



水中ポンプの操作訓練

緊急連絡訓練

Biz安否確認というアプリに加え、
LINEで災害対策ブロックごとにグ
ループを作成し、安否確認を行って
います。
また、複数の現場が稼働しているた
め、TeamsやFaceTime、今回から
LINEのビデオ通話も使用し、各現場
の状況報告を行う訓練をしました。

防災備蓄品の
賞味期限や
使用期限、
在庫数の確認
も行っていま
す。



2023.9.20 〈地震〉

熊本地方を震源とする地震が発生し、本社周辺でも
停電と断水が発生したと仮定し、防災訓練を実施
しました。



消火器の位置と使用方法の確認



発電機の起動確認とエンジンオイル交換





安全大会



優良作業所や優良協力業者
の表彰を行っています。



懇親会時に永年勤続表彰を行
いました。
今年度は当社取締役が
勤続年数60年を
迎えられました🌟



(一社)熊本県建築協会安全大会

(一社)熊本県建築協会主催の第36回安全大会へ
社員12名、協力会社37名が参加しました。

今後も安全な労働環境の整備
に協力会社と共に努めていき
ます。
また、3つの演題による安全
衛生講話では脂肪肝について
のお話もあり、大変勉強になり
ました。

2023.6.22



EA21更新審査 2023.8.17~8.18



審査員より新たな評価と提案事項をいた
だきました。審査後は反省会議を行い、
新たな課題にどう取り組んでいくかを話
し合っています。



安全週間 2023.7.1~7.7

- | | |
|---------|----------------|
| 7月1日(土) | 安全祈願祭 |
| 7月2日(日) | 休養の日 |
| 7月3日(月) | 趣旨徹底の日
安全の日 |
| 7月4日(火) | 総点検の日 |
| 7月5日(水) | 安全パトロールの日 |
| 7月6日(木) | 安全教育の日 |
| 7月7日(金) | 反省の日 |



安全祈願祭



工事用機械点検・整備の実施



安全パトロールで
見つかった
安全指示事項には
すぐに対応し、
改善しています。▶



安全パトロール

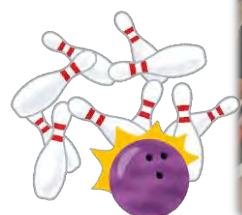


反省会議の開催



➤ ボウリング大会 2023.8.4

コロナ禍が明けて数年ぶりの開催となりました。
ボウリングを楽しみながら、親睦を深めることができました。



➤ インターンシップ

当社では、高校生・専門学生・大学生の
インターンシップを年5回受け入れています。



◀ 鉄筋圧接状況の説明中



➤ 衛生週間 2023.10.1～10.7



健康診断をはじめ、ストレスチェックや
労働災害防止のための教育も実施しています。

10月1日(日) 家族健康の日
10月2日(月) 趣旨徹底の日
10月3日(火) 総点検の日
10月4日(水) 衛生パトロールの日
10月5日(水) 避難・救護訓練の日
健康診断の日
10月6日(木) 反省の日
10月7日(金) 休養の日



高所作業車の点検



墜落静止用具の使い方説明

➤ 消防訓練 2023.11.8



火災発生時、安全に避難できるよう消防署の方に来ていただき、ビルの関係者全員で消防訓練に参加しています。
今年度は、訓練が始まってから火元が分かるようにしました。
臨機応変な対応が求められ、訓練終了後は改善点も多く見つかり、良い訓練となりました。



◀ 水消火器の訓練



▶ 初期消火訓練



▲ 屋上からはしご車での避難体験

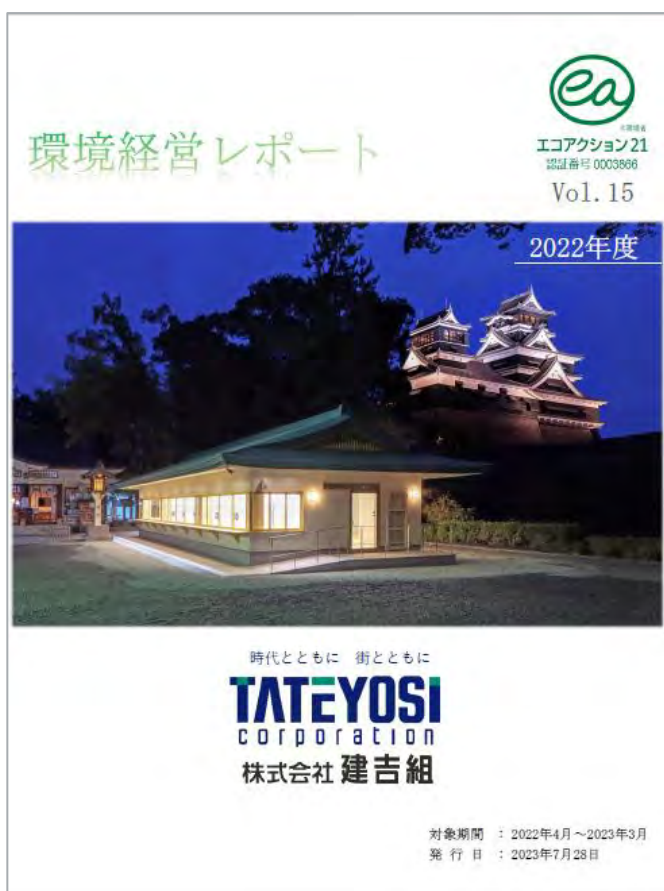
企業ボランティア 2023.11.11

前年度までコロナの影響で規模を縮小して行っていましたが、数年ぶりに通常通りに実施することができました。各施設にて窓ふきや草刈り、球根の植え付け等を行っています。



第16回エコアクション21 環境経営レポート大賞・九州

2023.12.15



12月15日に表彰式が行われ、「環境経営レポート大賞・九州」を受賞しました。選定理由として「経営における課題とチャンスと、SDGsへの取組みを主軸として総合的に分かりやすく、読みやすく表現されている」とお褒めの言葉を頂きました。今後もSDGs・脱炭素社会へむけて、取組みを行います。

法令講習 2023.12.1

熊本中央警察署交通第一課の方を講師にお招きし、法令講習をして頂きました。「飲酒運転根絶宣言」を行い、今後も安全運転に努めます。



建築の日 2023.11.10

11月11日は「公共建築の日」です。社会貢献活動の一環として、(一社)熊本県建築協会主催で行われている公共公園のトイレ清掃と献血活動に毎年参加しています。



建吉組・建吉会新年会

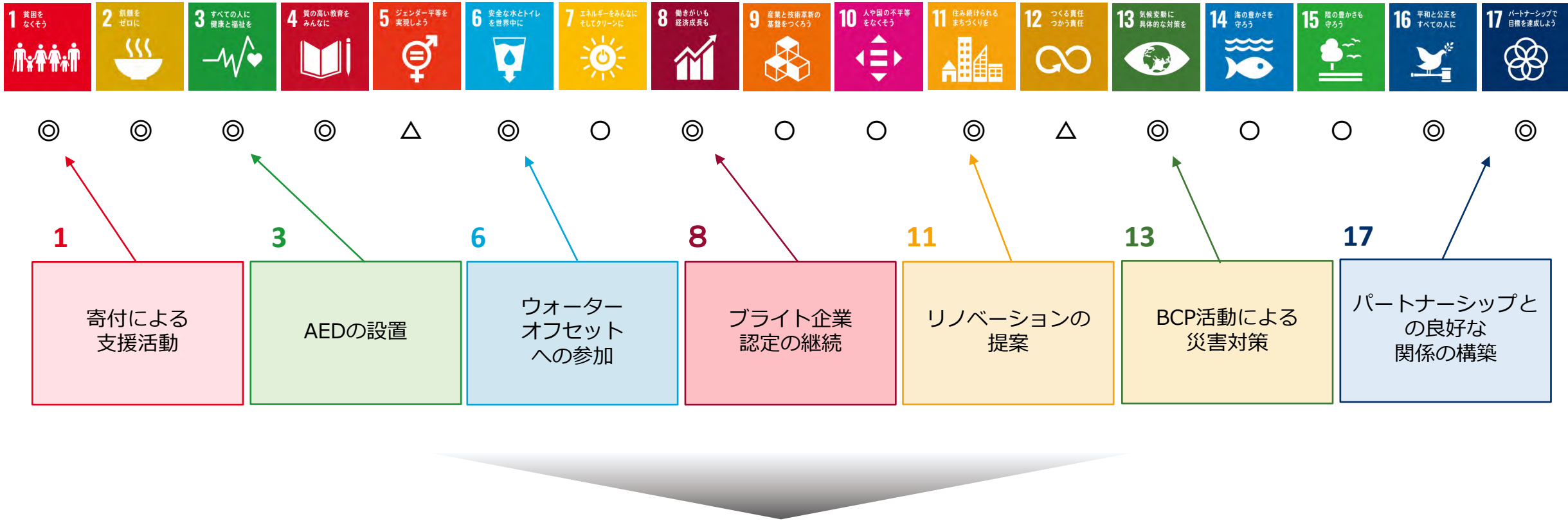
2024.1.4

1月4日に新年会を開催しました。福引大会もあり、楽しい時間を過ごすことができました。



12. SDGsの取組み

過去の取組みの振り返りと現在の取組みの紐づけ作業



優先取組み事項の決定



当社では、下記の内容を重視し、取り組んでいます。



(主な内容)

	貧困をなくそう ・ペットボトルキャップの回収 ・寄付による支援活動
	飢餓をゼロに ・3010運動の実施 ・フードドライブへの参加
	全てのの人に健康と福祉を ・AEDの設置 ・多目的トイレの新設 ・トレーニングルームの新設
	質の高い教育をみんなに ・社員教育の実施 ・インターンシップの受入 ・ふるさとくまもと創造人材奨学金返還等サポート制度への参加
	ジェンダー平等を実現しよう ・女性社員の積極雇用 ・外国人労働者への雇用環境

(主な内容)

	安全な水とトイレを世界中に ・事業所内節水への取組み ・くまもと地下水財団登録 ・ウォーターオフセットへの参加
	エネルギーをみんなにクリーンに ・再生可能エネルギーの利用(地中換気システム) ・Charichariの導入
	働きがいも経済成長も ・エンゲージメント向上 ・ブライト企業認定の継続
	産業と技術革新の基盤をつくろう ・ICTを活用した施工管理 ・BIM・VRなど最先端技術の活用 ・デジタルサイネージの使用
	人や国の不平等をなくそう ・ユニバーサルデザインの採用 ・ベテラン社員の長期雇用
	住み続けられるまちづくりを ・リノベーションの提案 ・防災訓練

(主な内容)

	つくる責任つかう責任 ・建設時のCO2の削減 ・建物カルテで定期点検の実施
	気候変動に具体的な対策を ・早期からの熱中症対策 ・BCPマニュアルで災害対応 ・熱中症対策の実施
	海の豊かさを守ろう ・使い捨てプラスチックの削減 ・マイボトル・エコバックの推奨
	陸の豊かさを守ろう ・建築資材の地産地消 ・自然素材の利用
	平和と公正をすべての人に ・コンプライアンス遵守の取組み ・各種認証認定の取得
	パートナーシップで目標を達成 ・自治体との連携 ・パートナーシップとの良好な関係 ・「無事故・無違反180日間運動」への参加



13. 会社の取組み

事務所編

○健康促進トレーニングルーム 2023.11

健康経営の一環として本社に隣接する体感ハウスを一部改修し、トレーニングルームを新設しました。昼休みや就業後に社員なら誰でも使用できる施設です。



○「Charichari」を設置しました！！ 2023.11

本社の前と当社所有ビル2か所にCharichariを設置しました。

Charichariとは、スマホアプリを通じて、1分単位で利用できるシェアサイクルです。福岡・名古屋を中心に展開しており熊本では2022年から運用されています。



○多目的トイレ

2024.3



本社1階に「多目的トイレ」を新設しました。オストメイト対応のトイレ※になります。

※オストメイト(人工肛門・人工膀胱保有者)が排出物の処理が行いやすいよう設備が整ったトイレ

○ウォーターオフセット 2023.12



ウォーターオフセットとは、地下水を育む田畑で栽培された農産物(農産加工品)や、それを食べて育った畜産物を購入・消費することで、地下水保全につながる取組みです。この取組みは、地下水を育む農業を支えることにもつながり、波及効果の高い環境保全活動といえます。



購入量 : 地下水を育む米 120kg
かん養量 : 約2,400m³

○エコキャップ 2024.3.15

年に一度、ペットボトルのキャップを集めて、CO₂削減や雇用創出、子どものワクチン支援など様々な活動に参加しています。今回提供個数 : 7,611個



○切手回収

2024.3.15

災害被害者への義援金や福祉・介護用品の贈呈など様々な場所で払い出しがされます。

今回提供数 : 250g(約1,250枚)



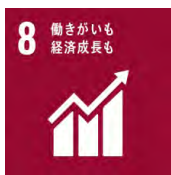
○寄付金他支援

当社では、様々な団体・法人へ寄付や支援をしています。

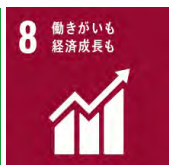
- ・トルコ・シリア地震緊急支援募金
- ・ウクライナ緊急募金
- ・更生保護法人 熊本県更生保護協会への協力
- ・能登半島地震災害義援金
- ・(公財)熊本県肢体不自由児協会の頒布活動へ協力



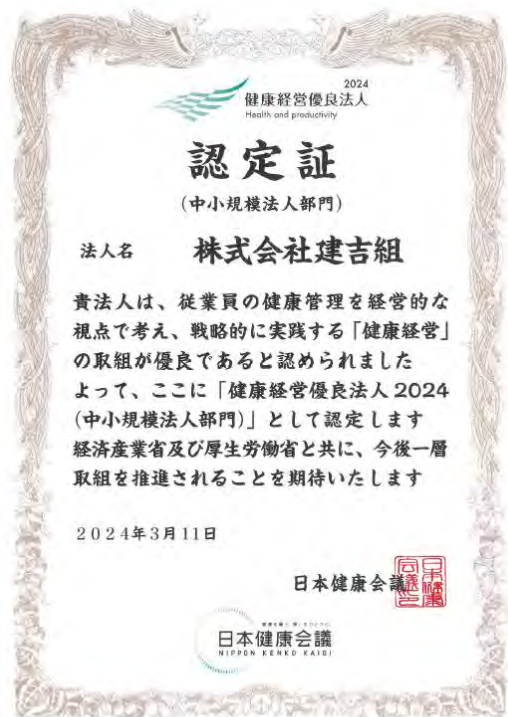
○健康経営優良法人



○ブライト企業



2024年3月11日に、健康経営優良法人2024(中小規模法人部門)の認定を受けました。健康経営優良法人の認定としては2018年より継続して6回目の認定となります。



- ▼認定基準
- 1 経営理念・方針
 - 2 組織体制
 - 3 制度・施策実行
 - 4 評価・改善
 - 5 法令遵守・リスクマネジメント

2021年度より、定期健診に歯科健診を加え、歯周病予防にも力を入れています。数年ぶりに検査を受けたという社員もあり、良いきっかけになりました。

2022年10月11日に、2022年ブライト企業認定証交付式において認定証を授与されました。今後も、働く人がいきいきと輝き、安心して働き続けられる企業として、県内の労働力確保、就職促進につなげるため、労働環境や処遇の向上に優れた取り組みを進めて参ります。



○事業継続力強化計画認定



事業継続力強化計画認定制度とは…
中小企業が策定した防災・減災の事前対策に関する計画を経済産業大臣が「事業継続力強化計画」として認定する制度です。

当社では月に一度、BCP委員会を開催し、自然災害時に備え、防災マニュアルの作成や社員連絡網の確認、防災訓練の計画等を行っています。



○熊本県SDGs登録制度

熊本県SDGs登録制度は、熊本県がSDGsに積極的に取り組む企業や団体等を後押しし、県内におけるSDGsの取り組みの裾野を広げるため創設した登録制度です。当社は、第1期事業社として登録されました。今後も登録企業として、本業である建設業とSDGsの関連性を認識するとともにSDGsの達成に向け努めます。

2021.8.25
第1期登録



○AED講習

2023.6.8

緊急事態に遭遇した際、適切な応急手当ができるよう本社と現場にAEDを設置しました。当社のお客様であるフクダ電子株式会社様にAEDの使用方法和応急手当の講習をして頂き、救急隊が駆け付けるまでの対応の重要性も学ぶことができました。



各現場でも講習を行ないました！



受講証▶

○フードドライブ



フードドライブとは…
家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらを取りまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動です。

9月の食品ロス削減月間に熊本県でフードドライブが実施され当社も参加しました！

当社社員、協力会社、
ビルのテナント様にも
お声がけし、
8/21～9/8の回収期間
で**20.3kg**の食品
が集まりました。★



家庭で余っている
食べ物



職場へ
持ち寄る



フードバンクへ
寄付



こども食堂へ
配布

現場編

○古紙をオリジナルトイレットペーパーへ



今年度に竣工した白川小学校校舎増改築工事で
竣工記念品として、オリジナルトイレットペーパーを
作り、熊本市立白川小学校へ贈呈しました。

このオリジナルトイレットペーパーは、現場ででた
古紙をリサイクルして作られ、作る過程の運搬や包
装を就労支援施設へ委託しています。
古紙利用や就労支援施設への委託は、資源循環や
障がいを持つ方たちへの工賃向上につながり、
社会貢献となっています。



現場ででた古紙



オリジナルトイレットペーパー



贈呈式

○熱中症対策



他にも、扇風機や製氷機、塩飴を設置しています。



●屋外休憩所ミスト
遮光ネット



●熱中症指数計



●熱中症対策キット



●シャワーヘッド



○環境保全対策



●在来型枠とシステム型枠の併用

併用により木材の使用量が大幅に減り、省資源化が図れます。また、全ての材料が100%マテリアルリサイクル(廃プラスチックから新たな製品を作ること)が可能で産業廃棄物の削減へ繋がっています。



●室外機からの排水の再利用



●プラスチック製パレットの利用



●排出ガス対策建設機械



●グリーン購入法適合製品の使用



再生資材出荷証明書			
工 事 名	(仮称)サービス付き高齢者向け住宅「あさひ」新築工事	2024年 4月 17日	
発 注 者 名	高瀬地区自治会 理事長 橋本 安全 様		
下記の資材を出荷したことを証明する			
工 種	合 材 名	出荷数量 合 材 t	資 材 購入 先の 証明 (左記の施工合材と数に対する購入証明)
舗装工	再生密粒度アスファルト混合物 (13) [50]	85.0	大林建設株式会社熊本777材料混合所 所長 田中龍樹
			以下 空白

●再生アスファルトの使用

○ユニバーサルデザイン



英語、中国語、
韓国語に対応して
おります。

●多言語対応標識



○社会貢献

自販機手数料の一部を
寄付しています。



●募金式自動販売機

○DX推進



●デジタルサイネージ

現場の仮囲いにデジタルサイネージを設置しています。

写真は、神社の社務所工事現場のもので、建物の歴史などを映しています。参拝に来られた方へ、工事中でも楽しんで頂けるよう工夫しています。

14. 2024年度の各部目標

総務部

- ・エコマーク及びグリーンマーク商品の購入60%以上
- ・建築分野のICT導入実績 2件
- ・協力会社へのSDGs・ESG支援 2回
- ・環境法規制違反 0件
- ・ワークシェアによる残業時間の削減



営業課

- ・定期点検からのリニューアル提案 12件以上
- ・中規模木造、木質化及び最適な各種システム建築の提案
- ・GEO本部と顧客の引き合わせ 年間2件
- ・営業活動時のエコドライブの推進



積算課

- ・環境、水質、地域特性によるリスク対策費用の計上漏れ
- ・環境配慮資材の提案
- ・GX、ZEB、ZEH理解度促進
- ・時間外労働時間の削減



設計課

- ・環境法令、条例、省エネ関連法の遵守
- ・中規模木造、木質化及び最適な各種システム建築の提案
- ・環境配慮資材提案、採用
- ・BIM提案、実施設計段階活用による業務効率化



建築課

- ・時間外労働の上限規制の遵守 45時間/月
- ・現場周辺の清掃活動 各現場 月1回
- ・現場周辺からの環境クレームへの迅速な対応
- ・募金式自動販売機設置の推進
- ・効率的な運搬車両運営(CO2削減・稼働時間制御)
- ・環境配慮資材・工法・機械の採用 各現場 1件以上
- ・現場で想定される災害に対する訓練の実施



15. 代表者による全体評価と見直しの結果

全体の評価

2023年度環境経営計画の取組結果として目標は、大半が達成することが出来ました。その中でグリーン購入・GEOパワーシステム・水及び紙の使用量について本社及び現場で目標達成が出来なかったため、次年度は環境配慮の商品や資材の使用についての推進を強化し、水の節約とペーパーレス化へのシフトチェンジを確実にを行い目標達成へ繋げたいと思います。また、社員一人一人の意識はもとより、協力業者への呼び掛けにより、CO2 の排出量等は昨年に引き続き目標を達成することが出来ております。

2022 年12 月には九州環境カウンセラー協会より「九州地方環境事務所長特別賞」を受賞し、2023年12月には「環境経営レポート大賞・九州」を受賞しました。この受賞は、私たちが環境保護に対して持つべき責任を再認識させるものであり、今後も持続可能な社会の実現に向けて、より一層の努力を続けていく決意を新たにしました。

SDGs については2030 年までの目標で、2050 年までの目標である脱炭素・カーボンニュートラルに目を向け、地域社会の持続可能な発展に向けたリーダーシップを発揮します。

全体の見直し

No.	項 目	有無	見直し事項
1	事業概要	有	完工高、社員数の変更
2	組織概要・対象範囲	有	積算課・設計課の表示場所変更
3	課題とチャンス	有	内容一部変更
4	環境経営方針	有	内容一部変更
5	環境活動の実施体制（2023年度・2024年度）	有	積算課・設計課の表示場所変更
6	環境への負荷実績・環境経営目標	有	表示形式、中期目標の変更
7	2023年度環境経営計画の取組内容	有	取組内容追加
8	環境法規制遵守チェックリスト	有	令和6年4月より変更予定内容を追加
9	建設に係る環境関連法規への違反、訴訟等の有無	無	
10	G E Oパワーシステム	有	内容一部変更
11	年間行事	有	内容変更
12	S D G s の取組み	有	マッピングの内容変更
13	会社の取組み	有	内容変更
14	2024年度の各部目標	有	各部目標見直し

2024年7月

株式会社 建 吉 組

代表取締役



株式会社 建吉組

〒860-0863

熊本市中央区坪井6丁目38番15号

TEL 096-343-1111

FAX 096-345-6711

<https://www.tateyosi.co.jp>